

実験実習機器センター

1 構成員

	平成 14 年 3 月 31 日現在
教授	0 人
助教授	1 人
講師（うち病院籍）	0 人（人）
助手（うち病院籍）	0 人（人）
医員	0 人
研修医	0 人
特別研究員	0 人
大学院学生（うち他講座から）	0 人（人）
研究生	0 人
外国人客員研究員	0 人
技官（教務職員を含む）	15 人
その他（技術補佐員等）	5 人
合 計	21 人

2 教官の異動状況

青島 玲兒（助教授）（期間中現職）

3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 13 年度
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	9 編（2 編）
そのインパクトファクターの合計	31.11
(2) 論文形式のプロシーディングズ数	2 編
(3) 総説数（うち邦文のもの）	1 編（1 編）
そのインパクトファクターの合計	0
(4) 著書数（うち邦文のもの）	0 編（編）
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	0 編（編）
そのインパクトファクターの合計	0
(6) 国際学会発表数	1 編

(1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

- 熊切葉子, 村中祥悟 (2001) エポキシ樹脂計算用アプリケーション. 医学生物学電子顕微鏡学会誌 15(2):39
- 太田 勲, 村中祥悟 (2001) マイクロウェーブ照射試料の超微形態的検討. 医学生物学電子

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

1. Hirashima, Y., Kobayashi, H., Suzuki, M., Tanaka, Y., Kanayama, N., Fujie, M., Nishida, T., Takigawa, M., Terao, T. (2001) Characterization of binding properties of urinary trypsin inhibitor to cell-associated binding sites on human chondrosarcoma cell line HCS-2/8. J Biol Chem. 276 : 13650-6
2. Izumi, M., Takeshita, A., Shinjo, K., Naito, K., Matsui, H., Shibata, K., Ohnishi, K., Kanno, T., Ohno, R. (2001) Decreased amount of mpl and reduced expression of glycoprotein II b/III a and glycoprotein I b on platelets from patients with refractory anemia: analysis by a non-isotopic quantitative ligand binding assay and immunofluorescence. Eur J Hematol. 65 : 1-8.
3. Kondo, A., Muranaka, Y., Ohta, I., Notsu, K., Manabe, M., Kotani, K., Saito, K., Maekawa, M., Kanno, T. (2001) Relationship between Triglyceride Concentrations and LDL Size Evaluated by Malondialdehyde-modeified LDL. Clin Chem. 47(5): 893-900.
4. Suzuki, M., Kobayashi, H., Fujie, M., Nishida, T., Takigawa, M., Kanayama, N., Terao, T. (2002) Kunitz-type protease inhibitor bikunin disrupts phorbol ester-induced oligomerization of CD44 variant isoforms containing epitope v9 and subsequently suppresses expression of urokinase-type plasminogen activator in human chondrosarcoma cells. J Biol Chem. 277 : 8022-32.
5. Suzuki, M., Kobayashi, H., Kageyama, S., Shibata, K., Fujie, M., Terao, T. (2001) Excretion of bikunin and its fragments in the urine of patients with renal stones. J Urol. 166 : 268-274.
6. Tokura, Y., Seo, N., Fujie, M., Takigawa, M. (2001) Quinolone-photoconjugated major histocompatibility complex class II-binding peptides with Lysine are antigenic for T cells mediating murine quinolone photoallergy. J Invest Dermatol. 117 : 1206-11.
7. Washiyama, N., Kazui, T., Takinami, M., Yamashita, K., Fujita, S., Terada, H., Suzuki, K., Muhammad, B A H., Fujie, M., Yamamoto, S. (2001) Experimental study on the effect of antegrade cerebral perfusion on brains with old cerebral infarction. J Thorac Cardiovasc Sur. 122 : 734-740.

インパクトファクターの小計 [31.11]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

(2) 論文形式のプロシーディングズ

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Muranaka, Y., Hotta, Y. (2001) Application of focused ion beam (FIB) apparatus for micro-processing to the biological specimens on the electron microscopy. Proceedings of the 10th

ASEAN conference for electron microscopy in Malaysia. 10 : 12-18

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

1. Naito, Y., Osakabe, F., Miyamoto, M., Koide, Y., Aoshima, R. (2001) The conditions of pulverizing O-CHA leaves affect the growth inhibition of tumor cells. Proceedings of the 2001 International Conference on O-CHA (tea) Culture and Science. 361-366

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

(3) 総 説

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 村中祥悟 (2001) 電子分光結像電子顕微鏡 医学生物学電子顕微鏡技術学会誌15 (2) : 91- 92.

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

(4) 著 書

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

(5) 症例報告

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

(6) 国際学会発表

1. Muranaka, Y., Hotta, Y. (2001) Application of focused ion beam (FIB) apparatus for micro-processing to the biological specimens on the electron microscop. The 10th ASEAN confer-

ence for electron microscopy in Malaysia, Novemver, Kuara Lunpure.

4 特許等の出願状況

	平成 13 年度
特許取得数（出願中含む）	0 件

5 医学研究費取得状況

	平成 13 年度
(1) 文部科学省科学研究費	0 件 (万円)
(2) 厚生科学研究費	0 件 (万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0 件 (万円)
(4) 財団助成金	0 件 (万円)
(5) 受託研究または共同研究	0 件 (万円)
(6) 奨学寄附金その他（民間より）	0 件 (万円)

6 特定研究などの大型プロジェクトの代表，総括

7 学会活動

	平成 13 年度
(1) 特別講演・招待講演回数	0 件
(2) 国際・国内シンポジウム発表数	11 件
(3) 学会座長回数	1 件
(4) 学会開催回数	0 件
(5) 学会役員等回数	1 件

(2) 国際・国内シンポジウム発表

1. 村中祥悟，門畑一久，堀田康明．(2001) 収束イオンビーム（FIB）を用いた電顕による内部構造観察のための生物試料エッチング，日本電子顕微鏡学会第 57 回学術講演会，5 月，博多市
2. 記野秀人，村中祥悟．(2001) 寄生虫卵の SEM 像と光顕像の比較，医学生物学電子顕微鏡技術学会第 17 回学術講演会，6 月，神戸市
3. 熊切葉子，デイヴィス恵子，村中祥悟．(2001) 試料作製法による血小板の形態変化，医学生物学電子顕微鏡技術学会第 17 回学術講演会，6 月，神戸市
4. 村松浩二，村中祥悟．(2001) 血管径に応じた血管鋳型作製法，医学生物学電子顕微鏡技術学会第 17 回学術講演会，6 月，神戸市
5. 村中祥悟，(2001) 電子顕微鏡の基礎，医学生物学電子顕微鏡技術学会第 8 回実技講習会，6 月，東京
6. 村中祥悟，堀田康明，門畑一久．(2001) 収束イオンビーム照射装置（FIB）による生物試料作製への応用，医学生物学電子顕微鏡技術学会第 17 回学術講演会，6 月，神戸市
7. 村中祥悟，柴田清，青島玲児．(2001) セルソータを用いて分離した B，T，NK 細胞の形態

と機能の検索，医学生物学電子顕微鏡技術学会第17回学術講演会，6月，神戸市

8. 太田勲，藤垣嘉秀，村中祥悟．(2001) Post-embedding 法における UNICRYL 樹脂の有用性
医学生物学電子顕微鏡技術学会第17回学術講演会，6月，神戸市
9. 村中祥悟 (2001) デジタル画像処理とプレゼンテーション，学会名：医学生物学電子顕微鏡技術学会第14回技術研修会，7月，神奈川
10. 村中祥悟，門畑一久．(2001) 収束イオンビーム照射装置 (FIB) の電子顕微鏡用生物試料加工への応用，第7回静岡大学技術報告会，12月，浜松市
11. 藤江三千男 (2002) ディスポ注射筒による電気泳動用，高分離 SDS 密度勾配ゲル作製法，生理学研究所第2回課題報告型シンポジウム，3月，岡崎市

(3) 座長をした学会名

Muranaka, Y The 10th ASEAN conference for electron microscopy in Malaysia

(5) 役職についている学会名とその役割

村中祥悟 医学生物学電子顕微鏡技術学会 理事

8 学術雑誌の編集への貢献

	平成13年度
学術雑誌編集数	0件

9 共同研究の実施状況

	平成13年度
(1) 国際共同研究	0件
(2) 国内共同研究	0件
(3) 学内共同研究	0件

10 産学共同研究

	平成13年度
産学共同研究	0件

11 受賞 (学会賞等)

12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

13 この期間中の特筆すべき業績，新技術の開発

14 研究の独創性，国際性，継続性，応用性

15 新聞，雑誌等による報道